



内町小学校だより

第4号 令和8年6月29日

七夕飾りに思いを込めて

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申しあげます。早いもので6月も終わりを迎え、1学期も残すところあと3週間となりました。子どもたちは、担任の指導のもと、日々の学習のまじめに向けて着実に取り組んでいるところです。

さて、児童玄関にはなかよしボランティアの方々によって大きな笹が飾られ、児童一人一人の願いが込められた短冊が彩りを添えています。その内容は様々ですが、いずれも子どもたちの純粋な思いや願いが伝わってくるものばかりです。

折しも、現在開催されているサッカーワールドカップにおいて、日本代表は「優勝」という高い目標を掲げ、その実現に向けて挑戦を続けています。この目標は決して容易に達成できるものではありませんが、選手・監督・スタッフが心を一つにし、努力を重ねている姿は、私たちに多くの示唆を与えてくれます。

子どもたちにとっても、夢や目標を持つことは、自らの人生を切り拓く大きな力となります。夢や目標は人を成長へと導き、日々の生活を豊かなものにしてくれます。そして、その実現のためには、本人の努力はもとより、周囲の温かな支えが欠かせません。自らの夢や目標を言葉や文字にして意識し、それを周囲に伝えていくことが、実現への確かな第一歩となります。

児童朝会においても、子どもたちに夢や目標をもつことの大切さを伝えてまいりました。今後も児童一人一人の願いの実現に向けて、家庭・学校・地域が一体となった「応援団」として、子どもたちを支えていきたいと考えております。保護者の皆様ならびに地域の皆様におかれましては、引き続き、子どもたちへの温かい励ましとご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。



朝の絵本の読み聞かせ(なかよしボランティアによる)

毎月、絵本の読み聞かせを行っていただいています。子どもたちは、絵本の世界に引き込まれ、充実した時間を過ごしています。お話ボランティアの皆様には大変ご負担をおかけしますが、子どもたちが本と触れ合う貴重な時間となっています。これからもご支援の程よろしくお願いいたします。

